

道徳「環境問題」 ~マイクロプラスチック~



今週の道徳は学年で行いました。体育館で2組の担任の青木先生に一斉授業をしていただきました。現在、ニュースなどでもよく取り上げられている「マイクロプラスチック」について授業を行いました。

さて、マイクロプラスチックとは何か・・・
 波と共に押し寄せ、海岸を埋め尽くすゴミの山、洋上はるかな無人島の浜にも打ち上げられるペットボトル。海流に乗って何千キロも流され、浮遊を続けるビニール袋、海底の泥の中に大量に堆積するマイクロプラスチック…今、海に大量に流出するプラスチックが世界的な環境問題となっています。経済の成長や便利なライフスタイルへの移行と共に増加の一途をたどってきた、この海洋を汚染するプラスチックごみ。多くのプラスチック製品を生産、消費している日本も無関係ではありません。手軽で耐久性に富み、安価に生産できることから、製品そのものだけでなく、ビニールや発泡スチロールなどの包装や梱包、緩衝材、ケースなどにも幅広く使われています。しかし、プラスチックの多くは「使い捨て」されていて、利用後きちんと処理されずに環境の中に流出してしまうことも少なくありません。この環境の中に流出したプラスチックのほとんどが最終的に行き着く場所が「海」です。すでに世界の海に存在しているといわれているプラスチックは合計で1億5000万トン。そこへ少なくとも年間800万トン（重さにして、ジャンボジェット機5万機相当）が、新たに流出していると推定されています。すでに海の生態系に甚大な影響を与えており、このままでは今後ますます悪化していくことになり



ます。鳥がビニール袋を餌と間違えて食べている様子やウミガメが漁網などに絡まっている様子が映し出され、深刻な状況を目の当たりにしていました。



この多くのプラスチックのごみが、波や紫外線などの影響を受けて、やがて小さなプラスチックの粒子となります。5mm以下になったプラスチックの粒子をマイクロプラスチックといいます。このマイクロプラスチックは魚や動物の体の中だけではなく、人間の体内にも取り込まれています。今はまだ、このマイクロプラスチックが人を含む生物の身体や繁殖などに、具体的にどのような影響を及ぼすのか、詳しいことはまだ明らかにされていません。日本はプラスチックの生産量世界第3位です。特に1人当たりの容器包装プラスチックごみの発生量は世界第2位となっています。コンビニの普及もありレジ袋は一人当たり一日約一枚のペースで消費されています。また、ペットボトルの国内の年間出荷は227億本に達しています。

自分が今すぐに何ができるのかしっかり考えることができていました。将来、人間と自然、動物が共存していくために必要なこと、普段の生活で自分たちが変えていけることを確認しました。例えば、レジ袋をエコバックに変えたり、ペットボトルはリサイクルに出したりするなど、たくさんあります。一人一人の環境への意識が変わらないと今後も深刻な被害等がでていくことも理解できたと思います。自然を、地球を、環境を大切に。



明日から3年生最初の中間テストです

明日16日（木）、17日（金）に1学期の中間テストが行われます。準備はできているでしょうか？3年生がスタートしてから、授業で一生懸命ノートをとったり、問題を解いたりしてとてもよいスタートがきれていると思います。また、時間を有効に使おうと、休み時間に提出物を仕上げたり、分からないところを教えあったりしている様子をよく見かけます。3年生となると、気持ちの入り方に変化が見られます。目の前に中間テストがあるけれど、その先に受験を見据えている人がたくさんいます。みんなの頑張りの成果がでますように・・・

